



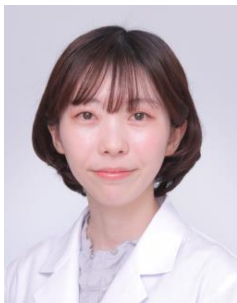
市立三次中央病院 患者支援センターだより



令和7年2月発行

医師紹介

2024年10月より市立三次中央病院に赴任しました産婦人科の野田望と申します。



野田 望

JA 尾道総合病院、広島大学病院での勤務を経て、市立三次中央病院で勤務させていただくことになりました。周産期、婦人科腫瘍、ヘルスケア、どの分野においても適切な医療を必要としている患者さんのもとへお届けできたらいいなと思い、日々診療をしております。そのためにも先輩方が築いてきてくださった近隣医療機関、福祉施設との連携を大切にしていきたいと考えております。

至らない点が多々あるとは存じますが、今まで培ってきた経験を活かし、三次の医療に貢献出来るよう尽力します。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

このたび、三次市立中央病院耳鼻咽喉科に着任いたしました木村祐登（きむら ゆうと）と申します。私は令和4年に広島大学医学部を卒業後、JA 広島総合病院で2年間の初期研修を修了し、その後広島大学病院で耳鼻咽喉科の臨床経験を積んでまいりました。医師としての歩みを進める中で、患者様に最善の医療を届けるには、地域に根差した診療が不可欠であると強く感じ、今回、地域医療に貢献すべく三次市を拠点に活動を始めることとなりました。



木村 祐登

三次市は、豊かな自然と文化を持ち、「人がつながるまち」として多様な地域活動が展開されています。この地で、耳鼻咽喉科医として患者様の生活の質を向上させることを目指し、幅広い疾患に対応する診療を提供してまいります。特に、聴覚や言語、顔面神経などの分野における専門知識を生かし、患者様一人ひとりに寄り添う医療を実践していきたいと考えています。

また、医療は決して一人では成し遂げられるものではありません。地域の医療機関や福祉施設との連携を深め、患者様が安心して暮らせる環境を整えるため、積極的に協力してまいります。三次市の医療と福祉をより強固なものとするために、全力を尽くす所存です。



市立三次中央病院
患者支援センター

〒728-8502 広島県三次市東酒屋町 10531 番地
TEL 0824-65-0239（予約） FAX 0824-65-0159
TEL 0824-48-0086（相談、入退院支援、退院・転院調整）



※過去に発行した患者支援センターだよりは、当院ホームページにてご覧いただけます。

久しぶりのクリスマスコンサート

年の瀬も迫り、街はクリスマスの華やかな雰囲気包まれた12月23日（月）に1階エントランスホールにて患者サービス向上委員会主催による手作りのクリスマスコンサートを行いました。エントランスホールを用いたイベントはコロナ前が最後になるため、約5年ぶりの開催となります。

クリスマスの飾りつけをされたエントランスホールには、コンサート開始前から流れてくるクリスマスソングに誘われて、職員や患者さんが集まり始めました。永澤病院長の挨拶により開会したクリスマスコンサートは、



正面玄関に設置された舞台から様々な演目が披露されました。

カードマジック・アコースティックギター・歌・グランドピアノ・チェロ・ハンドベルと、多彩な演目となりました。普段見ることのない職員の姿や意外な特技に驚きの声と大きな拍手が沸き起こりました。会場全体が暖かい雰囲気に包まれた素敵なクリスマスとなりました。

会場に来て下さった患者さんから「かわいい演出だった」「居心地の良い暖かい雰囲気があってよかった」など喜びの声や、「アンコールをしてもよかったのかな」「もっと長くしてほしい」という助言を頂くことができました。みなさんに喜んでもらえるイベントを今後も開催してまいります。

内視鏡センター

当院の内視鏡センターでは年間に上部消化管検査3600件・下部消化管検査1100件・EMRやESD等を合わせると年間5900件の検査・処置を行っています。2024年3月外来化学療法センター拡充と移転に伴い、内視鏡センターの前処置室・診察室・多目的トイレを増設いたしました。今までは、少し窮屈な場所で前処置を行っていましたが、ゆったりとした環境の中で行う事により、より安全な前処置を行えるようになりました。

これからも、医師や看護師・臨床工学技士がチームとなって地域の皆様に安心して検査や治療を受けていただけるように努力していきます。



地域医療連携予約などで、患者さんのご紹介をお願いします。